

自然休養林における利便性の向上、情報発信の強化に向けて
～QRコードを活用した取組～

近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署
神戸森林事務所係員 佐藤 開
国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部 保全課 地すべり係
中村 祐輔
(元 兵庫森林管理署 神戸森林事務所森林官補)

1 課題を取り上げた背景

本取組みの対象地である宝塚自然休養林(北中山国^{きたなかやま}有林)は、街地からのアクセスが良好であり、また、山麓^{しやんざん}には寺歴1370余年を誇る紫雲山中山寺や清^{なやかやま}荒神^{きよしこうじん}等もあることから年間を通して多くのハイカーが訪れます。しかしながら、自然休養林として好条件にも関わらず、林内施設は老朽化が進行し、中でも林内看板の老朽化は著しく、利用者への情報発信等が十分に確保されていない状況にあります(写真1)。加えて、平成29年4月には「日本美しい森お薦め国有林」にも選定されたことから当該休養林における施設整備、情報発信等の強化がより一層求められている状況にあります。



写真1 老朽化した看板

2 取組の経過

平成28年8月に実施された行政評価・監査において、「老朽化により看板表記の判読が困難となっており林内情報が十分に提供できていない」等の指摘を受けました。そこで、宝塚自然休養林保護管理協議会でのコンセンサスを得たうえ



写真2 再整備した看板

で、老朽化が特に著しく、利用度の高い歩道沿いに設置されている林内看板から優先的に再整備し、併せて、利便性等をより向上させるため整備した看板に当該休養林の詳細情報等が公開されている兵庫署のHPにアクセスできるQRコードを設置しました(写真2)。

3 取組内容

兵庫署HPに当該休養林の情報ページを作成し、そのURLから作成したQRコードを林内看板に設置しました。これにより、初めて訪れる利用者でも学習感覚を持ちながら充実したハイキングを楽しむことができるようになること、読み取り地点を現在地とした周辺地図による利便性の向上、林内の施設及び景観ポイント等の詳細情報を提供するなど情報発信力の強化を図ることとしました。また、林内で負傷者が発生した場合に備え、QRコードを設置した看板の位置を宝塚消防署に共有し、負傷者からの119番連絡の際にQRコードに付された番号を伝えると救助側が負傷者の現在地を容易に把握でき、現地到着までの時間短縮に寄与するシステムを構築しました。



図1 情報提供のイメージ

4 考察

QRコードの活用は、利便性や情報発信力を向上させるのみならず、提供情報をHP上で管理する、看板本体を更新せずとも情報更新等が可能となり、維持管理面での柔軟性の向上やコスト縮減につながると考えます。今後は、QRコード設置後に実施したアンケート結果を基に活用方法や提供する情報の改善・改良につなげる必要があると考えます。